

地元学の会



佐伯市民大学 支援事業
令和四教室

Overall theme of the course

地元で豊かに生きるための Localizationを学ぶ

佐伯市民大学講座（前期） 日程 & 講師

テーマに沿ったゲスト講師と、地元で活動を続けているローカル講師が登場。
新たな学びと共に地元のリアルを知ること、自身に落とし込むことが狙いです。

ローカリゼーションは今、ここから始まる

'26年1月10日(土) 13時～

保健福祉総合センター 和楽 大研修室

[jimotogaku-no-kai]
Advisor & instructor

辻 信一 (つじ・しんいち)

文化人類学者、明治学院大学名誉教授
環境=文化NGOナマケモノ倶楽部 代表



1977年北米に渡り、カナダ、アメリカの諸大学で哲学・文化人類学を学び、1988年米国コーネル大学で文化人類学博士号取得。1992～2020年まで明治学院大学国際学部教員として「文化とエコロジー」などの講座を担当。またアクティビストとして、「スローライフ」「ハチドリの一としづく」「キャンドルナイト」「しあわせの経済」などの社会ムーブメントの先頭に立つ。著書『スロー・イズ・ビューティフル』『ナマケモノ教授のムダのてつがく』『サティシュ先生の夢見る大学』(ゆっくり堂)

映画「幸福の経済学」上映 (68分) 13時30分～

今、問われる幸せとは？ 真の豊かさとは？ 人や自然との繋がりを取り戻す暮らし方を探るドキュメンタリー。グローバリゼーションからローカリゼーションへ。世界中に広がるローカリゼーション運動のパイオニア、ヘレナ・ノーバーク＝ホッジらが、人と自然とのつながりを取り戻す「ローカリゼーション」を提唱する。(2010年制作)



佐伯市民大学オープニング講座 (60分) 15時～

※時間はあくまで予定ですので、変更する場合があります。

食、人権、環境、開発を問い直す

'26年2月1日(日) 14時～

東地区公民館 集会室

Guest instructor

印 鑰 智 哉 (いんやく・ともや)
OKシードプロジェクト 事務局長



ドキュメンタリー映画『種子－みんなのもの？それとも企業の所有物？』(2018年)『遺伝子組み換えルーレット』(2015年)日本語版企画・監訳。『命を守る食卓』(宝島社2024)『世界』(岩波書店)などで記事を執筆中。世界の食と農の問題を追う。

Local instructor

小 山 敬 晴 (こやま・たかはる)
大分大学経済学部准教授、博士(法学)
お問い合わせいただけます!プロジェクト 共同代表



大分大学経済学部准教授。法学博士、労働法専門。働く人の権利を守るには食料への権利保障が重要と考え、労働と食料の権利の関係性を研究。食の根本である「種」が人権であることの理論的解明、実践運動として種子法廃止違憲確認訴訟弁護団会議に参加。



地元で豊かに生きるための Localizationを学ぶ

面識経済で地域活性化を目指そう

'26年4月12日(日) 14時～

さいき城山桜ホール 小ホール

Guest instructor

山崎 亮 (やまざき・りょう)

studio-L 代表

関西学院大学建築学部教授

コミュニティデザイナー、社会福祉士



東京大学大学院修了。工学博士。住む人たちが地域課題を解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクト多数。『面識経済 (光文社)』

Local instructor

平川 摂 (ひらかわ・おさむ)

株式会社 ベース 代表取締役

元さいきあまべ食べる通信 発行人編集長

さいきあまべ食べる商會 共同代表



同志社大学卒。リクルートで営業・編集職を経て2012年Uターン、家業の水産加工卸を継ぐ。地域の一次産業・食文化の発信に注力。2017年「さいきあまべ食べる通信」創刊、発行人兼編集長。地元や大学の講師活動、観光プロモーション、マルシェ運営など取り組む。

共感資本社会の実現を目指して

'26年6月7日(日) 14時～

東地区コミュニティセンター 集会室

Guest instructor

新井 和宏 (あらい・かずひろ)

(株)eumo 代表取締役(共同代表)

(株)温泉資源庁 代表取締役(共同代表)



旧住友信託銀行、パークレイズグローバル入社。大病とリーマンショックをきっかけに、それまで信奉してきた金融工学や数式に則った投資、金融市場のあり方に疑問を持ち、以来2つの会社を創設。著書『共感資本社会を生きる』(共著・ダイヤモンド社)他多数。

Local instructor

吉田 俊郎 (よしだ・しゅんろう)

NPO法人トランジション・ジャパン

共同代表理事



持続可能なコミュニティ作りの普及活動を全国に展開。2011年半セルフビルドの家作り。森林作業、エネルギー自給(オフグリッド)、食物自給など、地域の仲間と学びながらトランジション・タウン南阿蘇で、地域通貨で〜らを立ち上げ新しいコミュニティを実験中。

地域ミュージアムと文化の掘り起こし

'26年9月6日(日) 14時～

東地区コミュニティセンター 集会室

Guest instructor

赤坂 憲雄 (あかさか・のりお)

民俗学者

元 福島県立博物館 館長



東京大学卒。著書に『異人論序説』(ちくま学芸文庫)『境界の発生』(講談社学術文庫)『東北学/忘れられた東北』(岡本太郎の見た日本)『象徴天皇という物語』(岩波現代文庫)『武蔵野をよむ』(岩波新書)『ナウシカ考』(岩波書店)など。

Local instructor

矢野 大和 (やの・たいわ)

鷹鳥屋神社 宮司

おおいた観光特使



宇目町役場勤務。2001年「職場に来なくて良い職員」として観光大使となり口演活動を開始。合併後、佐伯市観光大使となる。2011年よりおおいた観光特使。笑い(落語)を取り入れた講演を口演と命名し、全国各地で毎年400回を超える口演を行っている。

芸術の向かう先にある風土

'26年11月1日(日) 14時～

東地区コミュニティセンター 集会室

Guest instructor

小野 正嗣 (おの・まさつぐ)

作家、フランス文学者

早稲田大学文化構想学部 教授



'01年『水に埋もれる墓』第12回朝日新人文賞受賞。'02年『にぎやかな湾に背負われた船』(朝日文庫)第15回三島由紀夫賞受賞。同年、第1回東京大学総長賞受賞。'13年、早稲田大学坪内逍遙大賞奨励賞受賞。'15年『九年前の祈り』(講談社文庫)第152回芥川賞受賞。

Local instructor

桑門 超 (くわかど・ちょう)

宗教法人法輪山 善教寺 住職

学校法人ルンビニこども園

理事長・園長



ロンドン大学・コーネル大学で社会人類学専攻。多様なフィールドと実践への視座を学ぶ。美術家佐倉康之氏と、子どもの表現の魅力を伝えるパブリックアートを、佐伯を拠点に国内外において共同制作。子どもと大人、佐伯の人と離れた場所の人の繋がりとの契機としている。